

令和2年度

安曇野市水道事業会計  
安曇野市下水道事業会計  
事業別予算概要説明書

(安曇野市議会基本条例第11条関係資料)

## 目 次

### 令和2年度 安曇野市水道事業会計 当初予算

原水及び浄水費（上水道課 維持係）	2
配水及び給水費（上水道課 維持係）	3
受託工事費（上水道課 工務係）	4
総係費（経営管理課 庶務担当）	5
減価償却費（経営管理課 庶務担当）	6
資産減耗費（経営管理課 庶務担当）	7
その他営業費用（経営管理課 庶務担当）	8
支払利息及び企業債取扱諸費（経営管理課 庶務担当）	9
過年度損益修正損（経営管理課 庶務担当）	10
配水設備工事費（上水道課 工務係）	11
量水器費（上水道課 管理係）	12
固定資産購入費（上水道課 管理係）	13
豊科・明科地域整備事業（上水道課 工務係）	14
改良費（上水道課 管理係）	15
企業債償還金（経営管理課 庶務担当）	16

### 令和2年度 安曇野市下水道事業会計 当初予算

管きよ費（下水道課 維持管理担当）	18
処理場費（下水道課 維持管理担当）	19
浄化槽費（下水道課 維持管理担当）	20
農業集落排水費（下水道課 維持管理担当）	21
受託工事費（下水道課 維持管理担当）	22
総係費（経営管理課 庶務担当）	23
減価償却費（経営管理課 庶務担当）	24
資産減耗費（経営管理課 庶務担当）	25
支払利息及び企業債取扱諸費（経営管理課 庶務担当）	26
過年度損益修正損（経営管理課 庶務担当）	27
管きよ工事費（下水道課 下水道整備担当）	28
農業集落排水工事費（下水道課 下水道整備担当）	29
流域下水道事業費（下水道課 下水道整備担当）	30
固定資産購入費（下水道課 維持管理担当）	31
排水設備工事費（下水道課 維持管理担当）	32
企業債償還金（経営管理課 庶務担当）	33

# 安曇野市水道事業会計

予算書ページ	26
--------	----

重点施策	—	課・係等	上水道課 維持係
------	---	------	----------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	1	原水及び浄水費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	211,337					211,337
前年度	209,109					209,109
増減額	2,228	0	0	0	0	2,228

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・深井戸からくみ上げた地下水に法令に基づき滅菌剤を添加し、配水池に貯水する。
- ・定期的に水質検査を実施して水質の管理に努めるとともに検査結果を市のホームページにわかりやすく公開する。
- ・水道水の安定供給が出来るよう中央監視システムのデータを基に水源施設の運転管理や施設維持管理に努める。

【効果】

- ・水質検査結果の公開により、水質の安全性や検査内容の確認ができ、利用者が安心して使用できる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・水源施設におけるポンプ設備の経年劣化部品の交換等計画的な改修・診断を行い、取水の安定性を高める。
- ・水質検査は、原水・浄水の全項目検査を実施し、水質監視に努める。
- ・配水池内の清掃を計画的に行い、安心で快適な水道水の供給に努める。
- ・水安全計画を策定し、水道施設のリスク分析と管理計画を確立することにより安全で安心な飲料水の供給に努める。

【一般財源増加理由】 井戸老朽調査実施による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
80	備消耗品費	50	水源地管理用品	310	薬品費	3,116	次亜塩素酸ナトリウム、PH調整用石灰(久保田水源)、ホリ塩化アルミニウム(真々部緊急用濾過機分)
100	光熱水費	48	下水道使用料				
130	委託料	31,333	井戸老朽調査、水質検査業務等、水道施設除草業務、配水池不断水清掃点検業務、電気料ESP業務サービス等				
140	手数料	99	ハチの巣除去				
160	修繕費	1,430	配水池電気計装設備修繕、送水ポンプ修繕				
250	負担金	250	三郷南小倉工区維持管理費(南小倉揚水機場電気料)、揚水機電気料負担金				
300	動力費	175,011	水道施設電気料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	水質検査業務	水道法の規定に基づき水質検査計画を策定し実施する。 安全で安心な飲料水を供給することができる。	130	委託料	13,638
					計	13,638
2	ソフト	水源等施設老朽化診断業務	今後の水源施設の更新計画を立てるため、更新基準年数の経過している水源施設(井戸内部)の調査診断を実施する。	130	委託料	6,000
					計	6,000

重点施策	—	課・係等	上水道課 維持係
------	---	------	----------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	2	配水及び給水費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	279,059					279,059
前年度	243,130					243,130
増減額	35,929	0	0	0	0	35,929

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・常時監視システムにより配水・送水施設を維持管理し、各家庭への安定的な水道水の供給に取り組む。
- ・漏水調査を実施し、漏水損失の減少を図る。
- ・各種調査やデータ収集により施設の状況把握に努める。

【効果】

- ・漏水による流失を防ぐことにより、安定した水道水の供給が可能となり、動力費等の節減が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・カメラ調査及び洗管業務を行う。
- ・豊科地域の漏水調査を行う。
- ・施設台帳整備を行う。
- ・地図情報システムのデータ更新を行う。
- ・検満メーターの計画的な交換を行う。
- ・配水施設の的確な維持管理を行う。
- ・配水管等の破管修理を迅速かつ的確に行う。

【一般財源増加理由】カメラ調査及び洗管業務等実施による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
60	旅費	616	職員研修・出張旅費等	150	賃借料	1,196	水源地用地等賃借料、積算システム利用料
80	備消耗品費	993	配水・給水関連消耗品、公用車タイヤ代等	160	修繕費	52,761	検定満期量水器修繕、給配水管修理等、車検等整備代
90	燃料費	1,017	公用車燃料代	190	保険料	579	公用車自動車共済、自賠責保険料
110	印刷製本費	50	メーター交換連絡票印刷代	230	研修費	435	職員研修費
120	通信運搬費	9,600	テレメータ、施設電話料等	250	負担金	8,045	退職手当負担金等
130	委託料	106,474	カメラ調査及び洗管業務、漏水調査業務、施設台帳整備業務、上水道台帳GIS更新、検定満期量水器取替業務、緊急修理待機業務等	320	材料費	700	緊急修理工事用材料費
140	手数料	450	保菌検査、公用車法定点検手数料等	その他		680	法定福利費(公務災害負担金・社会保険)、被服費、公課費

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	漏水調査業務	豊科地域の漏水調査を実施し、漏水箇所の早期発見修理により、水道水の流失を防ぎ、有収率の向上を図る。	130	委託料	6,000
					計	6,000
2	ソフト	カメラ調査及び洗管業務	豊科地域の配水管内カメラ調査を実施し、管内洗浄を行うことにより、濁水の発生を防ぎ安定した水道水の供給を図る。	130	委託料	14,400
					計	14,400

予算書ページ	28
--------	----

重点施策	—	課・係等	上水道課 工務係
------	---	------	----------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	3	受託工事費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	7,950				7,950	0
前年度	7,950				7,950	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
	1	受託工事収益	7,950							

【目的・効果】

【目的】

・公共工事等において支障となる水道管・消火栓等の移設を行う。

【効果】

・依頼先の工事等が円滑に行える状態とするとともに、事故等による断水を未然に防止する。

【当該年度の事業概要(手法)】

・移設等依頼を受けた工事について、現場調査等を行った上で円滑に工事の進捗を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
160	修繕費	7,950	消火栓・給水管等移設修繕				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—		課・係等	経営管理課 庶務担当		予算書ページ	28		
予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち			
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち			
	目	4	総係費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営			
単位：千円									
当初予算額		特定財源				一般財源			
		国支出金	県支出金	企業債	その他				
本年度	165,333					165,333			
前年度	166,418					166,418			
増減額	△ 1,085	0	0	0	0	△ 1,085			
特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額		
							0		
<b>【目的・効果】</b> <b>【目的】</b> ・水道事業経営全般にかかる一般管理費。									
<b>【当該年度の事業概要(手法)】</b>									
<b>【一般財源増加理由】</b>									
節	節名称	金額	主要内容		節	節名称	金額	主要内容	
50	報酬	105	上下水道事業経営審議会委員報酬		140	手数料	5,002	口座振替手数料、コンビニ収納取扱手数料等	
60	旅費	310	職員研修・出張旅費		150	賃借料	5,390	上下水道料金システム使用料、コンビニ収納システム使用料等、本庁舎・掘金支所建物等使用料	
70	被服費	17	作業着等		160	修繕費	154	ハンディーターミナル修理	
80	備消耗品費	732	一般事務用品		190	保険料	269	建物共済	
110	印刷製本費	3,435	料金関係・経理関係用紙等印刷		210	雑費	117	高速道路使用料、官報閲覧料等	
120	通信運搬費	6,019	後納郵便料等、コンビニ収納通信電話料、直通電話料		その他	7,897	法定福利費(公務災害負担金)、報償費、研修費、負担金、貸倒引当金繰入額		
130	委託料	89,035	上下水道料金徴収業務、企業会計システム保守等						
<b>【上記予算の内の主な取組みの概要】</b>									
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額	
1	ソフト	収納率向上対策	給水停止予告や催告を積極的に行いながら、納付や連絡のない滞納者は支払督促などを進め、滞納額の縮減を図る。利用者負担の公平性を確保するとともに収益の確保により水道事業経営を安定的に維持する。			60	旅費	59	
					120	通信運搬費	21		
					140	手数料	9		
						雑費・研修費	70		
						計	159		
2									
						計	0		

予算書ページ	30
--------	----

重点施策	—	課・係等	経営管理課 庶務担当
------	---	------	------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	5	減価償却費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,057,430				271,988	785,442
前年度	1,061,969				275,892	786,077
増減額	△ 4,539	0	0	0	△ 3,904	△ 635

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
	1	長期前受金戻入	271,988							

【目的・効果】

・減価償却費は、現金の支出を伴わない費用として、資産取得に要した経費を期間損益計算することにより各事業年度に配分し、費用化するもの。また、固定資産の取得に充てた工事負担金等は長期前受金として計上し、減価償却に伴って長期前受金戻入として収益化している。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
470	有形固定資産減価償却費	1,057,430	建物、構築物、機械及び装置、車両及び運搬具、工具・器具・備品				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	30
--------	----

重点施策	—	課・係等	経営管理課 庶務担当
------	---	------	------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	6	資産減耗費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	10,340					10,340
前年度	22,876					22,876
増減額	△ 12,536	0	0	0	0	△ 12,536

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・固定資産が使用によって滅失し、又は機能的にその使用に耐えなくなったときに、その固定資産を廃棄し、その帳簿価額を除くこととなる。これを除却といい、除却の際に減価償却として費用化されていない額を固定資産除却損として計上する。また、建物など取り壊しに要する費用を固定資産除却費として計上する。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
490	固定資産除却損	4,212	固定資産除却損				
495	固定資産除却費	6,128	固定資産除却費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	30
--------	----

重点施策	—	課・係等	経営管理課 庶務担当
------	---	------	------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	7	その他営業費用		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	17				16	1
前年度	35				34	1
増減額	△ 18	0	0	0	△ 18	0

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
	1	材料売却収益		16						

【目的・効果】

・水道メーターの破損等に伴い、貯蔵量水器から売却したメーター原価を売却原価として振替えるもの。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
510	材料売却原価	17	材料売却原価				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	30
--------	----

重点施策	—	課・係等	経営管理課 庶務担当
------	---	------	------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	2	営業外費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	1	支払利息及び企業債取扱諸費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	124,905					124,905
前年度	134,391					134,391
増減額	△ 9,486	0	0	0	0	△ 9,486

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】  
・建設改良費に充てるため借入れた企業債の支払利息。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
530	企業債利息	124,905	定期償還分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	30
--------	----

重点施策	—	課・係等	経営管理課 庶務担当
------	---	------	------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	2	営業外費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	3	過年度損益修正損		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,300					1,300
前年度	1,300					1,300
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・過年度水道料金調定額が、漏水修理減免申請により調定更正が発生した場合に費用として処理するもの。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
630	過年度損益修正損	1,300	過年度水道料金修正損(調定更正発生分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	課・係等	上水道課 工務係
------	---	------	----------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	1	配水設備工事費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源					一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	一般会計出資金	分担金	工事負担金
本年度	865,130	15,500		83,000			62,706
前年度	780,779	8,588		151,000			32,000
増減額	84,351	6,912		0 △ 68,000	0	0	30,706

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	企業債		83,000						
1	工事負担金		62,706							
1	国庫補助金		15,500							

【目的・効果】

【目的】

- ① 拠点配水池に接続する導・送水管及び、重要給水施設への配水管の更新を図る。
- ② 老朽化した水道施設の更新・改修・耐震化等を計画的に推進し、安心して安全な水道水の供給を図る。

【効果】

- ① 管路を耐震管にすることにより、災害時に重要給水施設へ確実に水道水の供給が図れる。
- ② 漏水等が解消され有収率の改善が見込める。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・濁度計設置工事(穂高上原第4水源・豊里第2水源)
- ・緊急遮断弁改修工事(上長尾・岩原低区)
- ・主要管路整備(豊科)DIPφ200 L=300m  
(穂高)DIPφ100~200 L=1,030m
- ・配水管(老朽)布設替工事  
(豊科)DIPφ200 2路線 L=196m  
(穂高)HPPEφ50~100 5路線 L=2,800m  
(堀金)DIPφ75~150 1路線 L=900m  
(明科)DIP・HPPEφ50~100 3路線 L=1,200m
- ・既存施設更新事業(明科第3水源地計装盤改修工事、穂高テレメータ更新工事)

【一般財源増加理由】 既存施設更新事業等の増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
130	委託料	91,735	濁度計設置工事設計業務、主要管路布設替工事設計業務、緊急遮断弁設置工事設計業務、穂高豊里整備事業設計業務、既存管路(老朽管)布設替工事設計業務、国道19号歩道整備関連事業配水管布設替工事設計業務、既存施設更新事業設計業務等				
250	負担金	30,000	舗装復旧負担金				
290	路面復旧費	50,000	国道等路面復旧工事				
330	工事請負費	693,395	濁度計設置工事、主要管路布設替工事、緊急遮断弁設置工事、既存管路(老朽管)布設替工事、既存施設更新事業、水源・配水池フェンス設置工事、黒沢川赤沢橋仮設配水管布設工事、他負担金工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	主要管路整備事業	拠点配水池に接続する導・送水管や重要給水施設への配水管を耐震化することにより、確実に水を供給することができる	330	工事請負費	83,872
					計	83,872
2	ハード	緊急遮断弁改修工事	地震発生時に配水を制限することができ、タンク内に水を確保することができる。	330	工事請負費	52,000
					計	52,000

予算書ページ	34
--------	----

重点施策	—	課・係等	上水道課 管理係
------	---	------	----------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	2	量水器費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,079					1,079
前年度	1,068					1,068
増減額	11	0	0	0	0	11

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】  
 【目的】  
 ・新たに水道メーターを設置する利用者の量水器購入費用。

【当該年度の事業概要(手法)】  
 ・304個を購入する。

【一般財源増加理由】 購入個数の増による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
325	量水器費	1,079	新設メーター購入費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—	課・係等	上水道課 管理係
------	---	------	----------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	3	固定資産購入費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	2,142					2,142
前年度	4,762					4,762
増減額	△ 2,620	0	0	0	0	△ 2,620

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】  
・水源地見回りと、緊急時資材運搬するための公用車(トラック)の更新。

【当該年度の事業概要(手法)】  
・公用車 1台購入

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
440	車両及び運搬具	2,142	公用車購入				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	34
--------	----

重点施策	—	課・係等	上水道課 工務係
------	---	------	----------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	4	豊科・明科地域整備事業		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源					一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	一般会計出資金	分担金	工事負担金
本年度	280,799				74,800		205,999
前年度	483,398				162,300		321,098
増減額	△ 202,599	0	0	0	△ 87,500	0	△ 115,099

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	一般会計出資金		74,800						

【目的・効果】

【目的】

・明科第2水源地から豊科光配水池への送水ルートを整備し、災害時において豊科犀川右岸地域の水量確保のためバックアップシステムを構築する。また配水池を増設することに併せ、土砂災害特別警戒区域にある川東配水池・光配水池を廃止し、既存施設の統廃合を進める。

【効果】

・災害時において豊科犀川右岸地区の水量確保ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・送配水管布設工事DIPφ200・150 L=1,584m
- ・明科第2水源地改修工事 送水施設・電気計装設備工

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
130	委託料	5,150	管路工事施工監理業務、明科第2水源地改修工事監理業務				
330	工事請負費	275,649	送配水管布設工事、明科第2水源地改修工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	送配水管布設工事	豊科・明科地域間の管路を耐震管に整備することにより、災害時において安定した水道水の供給が図れる	330	工事請負費	147,609
					計	147,609
2	ハード	明科第2水源地改修工事	明科第2水源地改修工事を行うことにより、災害時田沢橋が被災しても安定した水量を配水池へ供給できる	330	工事請負費	128,040
					計	128,040

予算書ページ	34
--------	----

重点施策	—	課・係等	上水道課 管理係
------	---	------	----------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	5	改良費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	464					464
前年度	515					515
増減額	△ 51	0	0	0	0	△ 51

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】  
 【目的】  
 ・計量法に基づき既設量水器を交換するための費用。

【当該年度の事業概要(手法)】  
 ・φ75mm以上の量水器5個の交換を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
720	工具機械器具改良費	464	大型検定満期メーター改造修理(φ75mm以上)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	課・係等	経営管理課 庶務担当
------	---	------	------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	2	企業債償還金		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	1	企業債償還金		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	589,336					589,336
前年度	572,998					572,998
増減額	16,338	0	0	0	0	16,338

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額

【目的・効果】  
 【目的】  
 ・建設改良費に充てるため借入れた企業債の償還金。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】 企業債償還計画及び新規借入による増。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
560	企業債元金償還金	589,336	企業債償還元金定期償還分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

## 安曇野市下水道事業会計

予算書ページ	62
--------	----

重点施策	—	課・係等	下水道課 維持管理担当
------	---	------	-------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	1	管きよ費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,047,701	6,413				1,041,288
前年度	980,516	0				980,516
増減額	67,185	6,413	0	0	0	60,772

特定財源の内訳	款	1	国庫補助金	金額	6,413	合計金額	
							6,413

【目的・効果】

【目的】

- ・衛生的で快適な生活環境の実現のため、下水道施設の適正な維持管理を行う。
- ・持続可能な下水道事業の実現を図る(ストックマネジメント計画、処理場統廃合)。

【効果】

- ・生活環境の向上および公共水域の水質改善が図れる。
- ・下水道施設を計画的かつ効率的に管理し、施設更新等の費用の平準化が図れる(ストックマネジメント計画)。
- ・汚水処理施設の集約化による汚水処理および事業経営の効率化が図れる(処理場統廃合)。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・下水道処理施設等の維持管理業務を包括的に委託する。
- ・長野県が管理する犀川安曇野流域下水道の維持管理費の一部を負担する。
- ・前年度管路新設工事箇所等のデータを下水道台帳に更新登録する業務を委託し事務の効率化を図る。
- ・管路施設(道路上)の維持管理を実施する。
- ・ストックマネジメント計画(管路)を策定する。
- ・処理場の統廃合に係る接続基本設計を実施する。

【一般財源増加理由】 ストックマネジメント計画策定業務と下水道台帳データ更新業務の業務量増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
60	旅費	248	職員研修・出張旅費等	150	賃借料	241	積算システム利用料等
80	備消耗品費	504	工事関係図書、舗装補修常温合材、公用車タイヤ代等	160	修繕費	13,218	管路等維持管理補修費、車検等整備代
90	燃料費	308	公用車燃料代	190	保険料	188	公用車保険料
110	印刷製本費	44	マンホールカード印刷	200	公課費	60	自動車重量税
120	通信運搬費	120	携帯電話使用料、直通電話料	230	研修費	79	職員研修費
130	委託料	120,671	ストックマネジメント計画策定業務、処理場統廃合に係る接続基本設計業務、下水道処理施設等維持管理業務、下水道施設広域監視業務、下水道台帳データ更新業務等	250	負担金	856,812	流域下水道維持管理負担金、松川浄水苑負担金等
140	手数料	214	公用車法定点検手数料等	その他		555	法定福利費(公務災害負担金・社会保険)、被服費、材料費(マンホール鉄蓋)

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	下水道処理施設等維持管理業務	公共下水道の管路・マンホールポンプ場の維持管理業務の委託及び流域下水道施設の維持管理費を負担することにより、適正な汚水処理を安定して行うことができる。	130	委託料	70,857
				250	負担金	852,413
					計	923,270
2	ソフト	処理場統廃合事業	明科地域の単独公共下水道及び農業集落排水施設を流域下水道に統合する接続基本設計を行い、事業統合事務の円滑化と汚水処理施設の集約化による汚水処理及び事業経営の効率化を図ることができる。	130	委託料	14,806
					計	14,806

予算書ページ	64
--------	----

重点施策	—	課・係等	下水道課 維持管理担当
------	---	------	-------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	2	処理場費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	39,590					39,590
前年度	39,989					39,989
増減額	△ 399	0	0	0	0	△ 399

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・衛生的で快適な生活環境の実現のため明科浄化センターの適切な維持管理を行う。  
**【効果】**  
 ・生活環境の向上及び公共水域の水質改善が図れる。

**【当該年度の事業概要(手法)】**  
 ・明科浄化センターの維持管理業務を包括的に委託し適正な維持管理を図る。  
 ・明科浄化センターの汚泥運搬処理を委託する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
130	委託料	39,590	処理施設等維持管理業務、脱水汚泥処分業務等				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	下水道処理施設等維持管理業務	公共下水道処理施設の維持管理業務を委託することにより、適正な汚水処理を安定して行うことができる。	130	委託料	31,397
					計	31,397
2						
					計	0

予算書ページ	64
--------	----

重点施策	—	課・係等	下水道課 維持管理担当
------	---	------	-------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	3	浄化槽費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	2,243					2,243
前年度	2,174					2,174
増減額	69	0	0	0	0	69

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・豊科大口沢地区の特定地域生活排水処理施設(市町村設置型合併処理浄化槽)の適正な維持管理を行う。

【効果】

・生活環境の向上及び公共水域の水質改善が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・施設の保守点検業務を委託する。
- ・法定点検および汚泥汲取りを実施する。

【一般財源増加理由】 浄化槽放流水滅菌剤等の購入量増と汚泥汲取り料の増による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
80	備消耗品費	40	浄化槽放流水滅菌剤等				
130	委託料	457	合併処理浄化槽保守点検業務				
140	手数料	910	汚泥汲み取り料、合併浄化槽法定検査手数料				
160	修繕費	500	処理槽等修繕				
250	負担金	336	大口沢浄化槽組合負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	64
--------	----

重点施策	—	課・係等	下水道課 維持管理担当
------	---	------	-------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	4	農業集落排水費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	54,948	287				54,661
前年度	54,242					54,242
増減額	706	287	0	0	0	419

特定財源の内訳	款	1	国庫補助金	金額	287	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・衛生的で快適な生活環境の実現のため、明科の農業集落排水処理施設の適正な維持管理を行う。
- ・持続可能な下水道事業の実現を図る(ストックマネジメント計画)。

【効果】

- ・生活環境の向上及び公共水域の水質改善が図れる。
- ・下水道施設を計画的かつ効率的に管理し、施設更新等の費用の平準化が図れる(ストックマネジメント計画)。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・下水道処理施設(農業集落排水処理場)等の維持管理業務を包括的に委託する。
- ・4箇所(押野、川西、中村、生野)の浄化センターから発生する汚泥の引き抜き運搬処理業務を委託する。
- ・ストックマネジメント計画(管路)を策定する。

【一般財源増加理由】 処理施設等維持管理業務料の増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
130	委託料	54,104	ストックマネジメント計画策定業務、処理施設等維持管理業務、下水道施設広域監視業務、汚泥引抜運搬業務				
140	手数料	94	口座振替手数料、コンビニ収納手数料等				
160	修繕費	750	管路等補修				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	下水道処理施設等維持管理業務	農業集落排水施設の維持管理業務の委託をすることにより、適正な汚水処理を安定して行うことができる。	130	委託料	41,298
					計	41,298
2	ソフト	ストックマネジメント計画(管路) 事業費は、公共(目:管きよ費)と農集排に管渠延長で案分。	老朽化が進む下水道施設について、その状況を客観的に把握・調査し、長期的な施設の状況を予測しながら、計画的かつ効率的に管理する計画を定め、また、施設更新の平準化を図り持続可能な下水道事業経営を実現する。	130	委託料	573
					計	573

予算書ページ	64
--------	----

重点施策	—	課・係等	下水道課 維持管理担当
------	---	------	-------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	5	受託工事費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	5,500				5,500	0
前年度	9,111				9,111	0
増減額	△ 3,611	0	0	0	△ 3,611	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	受託工事収益	5,500							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・公共工事等に伴い支障となる下水道施設(公共ます等)の移設を実施する。  
**【効果】**  
 ・健全で効率的な下水道事業の運営を図られる。

**【当該年度の事業概要(手法)】**  
 ・担当部署からの要請により、支障となる下水道施設の必要な移設工事を実施する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
160	修繕費	5,500	公共ます等移設、マンホール修繕				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	64
--------	----

重点施策	—	課・係等	経営管理課 庶務担当
------	---	------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	6	総係費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	122,895					122,895
前年度	118,660					118,660
増減額	4,235	0	0	0	0	4,235

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】  
 【目的】  
 ・下水道事業経営全般にかかる一般管理費。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】 使用料徴収業務委託事務負担金の増による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
60	旅費	284	職員研修・出張旅費等	220	報償費	2,341	受益者負担金前納報奨金等
80	備消耗品費	395	一般事務用品	230	研修費	218	職員研修費
110	印刷製本費	1,911	使用料・経理関係用紙等印刷	250	負担金	75,565	日本下水道協会会費、使用料徴収業務委託事務負担金等
120	通信運搬費	3,067	接続率向上ダイレクトメール郵送料、接続率向上アンケート返信郵便料、後納郵便料	380	貸倒引当金繰入額	2,100	貸倒引当金繰入額
130	委託料	2,099	企業会計・受益者負担金システム保守料	390	補助金及び交付金	2,000	下水道接続補助金
140	手数料	3,845	口座振替手数料、コンビニ収納取扱手数料等		その他	528	法定福利費(公務災害負担金・社会保険)、被服費、保険料、雑費
150	賃借料	1,639	本庁舎使用料、受益者負担金システム等使用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	水洗化率向上対策	下水道接続工事への補助制度の活用を図りながら、積極的な下水道接続勧奨に取り組み水洗化率向上を目指し、使用料収入の増加に努める。	120	通信運搬費	310
				390	補助金及び交付金	2,000
					計	2,310
ソフト		収納率向上対策	訪問折衝や催告を積極的に行いながら、納付や連絡のない滞納者は滞納処分を進め、滞納額の縮減を図る。利用者負担の公平性を確保するとともに収益の確保により下水道事業経営を安定的に維持する。	60	旅費	59
				120	通信運搬費	71
				140	手数料	21
					雑費・研修費	70
					計	221

予算書ページ	66
--------	----

重点施策	—	課・係等	経営管理課 庶務担当
------	---	------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	7	減価償却費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,884,754				787,815	1,096,939
前年度	1,913,996				725,261	1,188,735
増減額	△ 29,242	0	0	0	62,554	△ 91,796

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	長期前受金戻入		787,815						

【目的・効果】

・減価償却費は、現金の支出を伴わない費用として、資産取得に要した経費を期間損益計算することにより各事業年度に配分し、費用化するもの。また、固定資産の取得に充てた工事負担金等は長期前受金として計上し、減価償却に伴って長期前受金戻入として収益化している。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
470	有形固定資産減価償却費	1,707,211	建物、構築物、機械及び装置、車両及び運搬具、工具・器具・備品				
480	無形固定資産減価償却費	177,543	流域下水道施設利用権				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	66
--------	----

重点施策	—	課・係等	経営管理課 庶務担当
------	---	------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	営業費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	8	資産減耗費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	3,834					3,834
前年度	3,955					3,955
増減額	△ 121	0	0	0	0	△ 121

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・固定資産が使用によって滅失し、又は機能的にその使用に耐えなくなったときに、その固定資産を廃棄し、その帳簿価額を除くこととなる。これを除却といい、除却の際に減価償却として費用化されていない額を固定資産除却損として計上する。また、建物など取り壊しに要する費用を固定資産除却費として計上する。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
490	固定資産除却損	3,834	固定資産除却損				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	68
--------	----

重点施策	—	課・係等	経営管理課 庶務担当
------	---	------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	2	営業外費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	1	支払利息及び企業債取扱諸費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	544,564					544,564
前年度	595,854					595,854
増減額	△ 51,290	0	0	0	0	△ 51,290

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

- 【目的・効果】
- ・建設改良費に充てるため借入れた企業債の支払利息。
  - ・資本費平準化債の支払利息。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
530	企業債利息	544,564	定期償還分、資本費平準化債分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	68
--------	----

重点施策	—	課・係等	経営管理課 庶務担当
------	---	------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	2	営業外費用		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	3	過年度損益修正損		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	700					700
前年度	300					300
増減額	400	0	0	0	0	400

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・過年度下水道使用料調定額が水道の漏水修理減免申請により調定更正が発生した場合に費用として処理するもの。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】 前年度実績による増。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
630	過年度損益修正損	700	過年度下水道使用料修正損				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	72
--------	----

重点施策	—	課・係等	下水道課 下水道整備担当
------	---	------	--------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	1	管きよ工事費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	18,869	0		0	9,810	9,059
前年度	13,989	0		0	6,760	7,229
増減額	4,880	0	0	0	3,050	1,830

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	工事負担金		9,810						

【目的・効果】

【目的】

・水路や河川など公共水域の水質改善による自然環境の保全と、トイレの水洗化による衛生的で快適な生活環境の実現のため、公共下水道施設の整備等を行う。

【効果】

・公共水域の水質改善により、悪臭やハエ・蚊などの発生が抑えられる。  
 ・トイレが水洗化され、衛生的で快適な生活を送ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

・下水道本管の整備は平成30年度で概ね完了したが、受益者負担金を納入している処理区域内の公共ます未設置の受益地を対象とした公共ます新設工事を行う。  
 ・道路改良工事等の計画に伴い、下水道管の撤去および布設替えの移設工事を行い、施設整備を進める。

【一般財源増加理由】 受託工事の増による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
130	委託料	1,347	道路改良に伴う管路工事設計業務				
330	工事請負費	17,522	公共ます新設工事、明科駅進入路新設に伴う管路移設工事、道路改良等に伴う管路移設工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	72
--------	----

重点施策	—	課・係等	下水道課 下水道整備担当
------	---	------	--------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	2	農業集落排水工事費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	3,704				1,480	2,224
前年度	4,066				2,030	2,036
増減額	△ 362	0	0	0	△ 550	188

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	工事負担金		1,480						

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・道路改良工事等に伴い支障となる下水道施設の移転を行う。  
**【効果】**  
 ・施設の損傷防止と適切な施設維持管理が図れる。

**【当該年度の事業概要(手法)】**  
 ・道路改良工事に伴う下水道管移設・復旧を行う。

【一般財源増加理由】 受託工事の増による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
330	工事請負費	3,704	道路改良等に伴う管路移設工事				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	72
--------	----

重点施策	—	課・係等	下水道課 下水道整備担当
------	---	------	--------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	3	流域下水道事業費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	109,621			106,300		3,321
前年度	137,650			133,000		4,650
増減額	△ 28,029	0	0	△ 26,700	0	△ 1,329

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	下水道事業債		106,300						

【目的・効果】

・長野県が実施している犀川安曇野流域下水道事業の事業費の一部を建設負担金として支出するもの（流域下水道事業費から国庫支出金を除く地方負担額のうち、50%を事業主体である長野県、50%を地元自治体の安曇野市と松本市で負担する）。

【当該年度の事業概要(手法)】

流域下水道事業事業費(計画)

交付金事業

	金額	地元建設負担金 (安曇野市・松本市)	左記のうち、 安曇野市負担金
水質保全(低率)	10,000 千円	2,500 千円	2,273 千円
地震対策(低率)	40,000 千円	10,000 千円	8,540 千円
地震対策(高率)	309,000 千円	51,500 千円	46,814 千円
水質保全(高率)	90,000 千円	15,000 千円	13,635 千円
交付金事務費	78,000 千円	39,000 千円	35,178 千円
県単事業	7,000 千円	3,500 千円	3,181 千円
計	534,000 千円	121,500 千円	109,621 千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
250	負担金	109,621	犀川安曇野流域下水道事業建設負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	72
--------	----

重点施策	—	課・係等	下水道課 維持管理担当
------	---	------	-------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	4	固定資産購入費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	5,842					5,842
前年度	1,150					1,150
増減額	4,692	0	0	0	0	4,692

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・マンホールポンプの適正な維持管理を図る。  
**【効果】**  
 ・故障時に備え、予備機導入によるポンプの稼働正常化を図れる。

**【当該年度の事業概要(手法)】**  
 ・主要幹線からの流入に対応した穂高第1マンホールポンプ場に配備された7.5kw汚水ポンプの故障に備え、予備機1台を購入する。

【一般財源増加理由】 機械及び装置(予備ポンプ)購入による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
430	機械及び装置	5,842	穂高第1ポンプ場予備ポンプ				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	72
--------	----

重点施策	—	課・係等	下水道課 維持管理担当
------	---	------	-------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	1	建設改良費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	5	排水設備工事費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	2,146					2,146
前年度	1,029					1,029
増減額	1,117	0	0	0	0	1,117

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・井戸利用者の汚水排除量を計量するため井水メーターを設置する。

【効果】

・井戸利用者の汚水排除量を把握し適正な使用料を徴収することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

・井水メーター購入及び、設置工事を発注。

【一般財源増加理由】 大型検定満期メーター改造修理増による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
325	量水器費	436	新規井水メーター購入				
330	工事請負費	858	新規井水メーター設置工事等				
345	改良費	852	大型検定満期メーター改造修理				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	72
--------	----

重点施策	—	課・係等	経営管理課 庶務担当
------	---	------	------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	2	企業債償還金		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	1	企業債償還金		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	2,392,367			362,100		2,030,267
前年度	2,322,823			363,600		1,959,223
増減額	69,544	0	0	△ 1,500	0	71,044

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	下水道事業債 (資本費平準化債)	362,100							

- 【目的・効果】
- ・建設改良費に充てるため借入れた企業債の償還金
  - ・資本費平準化債の償還金

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】 企業債償還計画及び新規借入による増。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
560	企業債元金償還金	2,392,367	定期償還分、資本費平準化債分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0